

放課後等デイサービス自己点検表(事業所)

令和2年3月14日

児童デイサービスやまざくら

		チェック項目	評価	改善目標、工夫している点など
環境 ・ 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	×	・活動時間の工夫や活動内容を考え、プラザイーストや駒場体育館などを活用しています。
	②	職員の配置数は適切であるか	×	・日々6～7人の配置はしていますが、子どもの特性を考慮しながら配置するようにはしています。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	×	・現状は身体障害児の利用はないので、玄関、トイレの不都合はありません。
業務 改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	△	・毎日のミーティングでの情報共有や意見交換を行っていますが、今後は職員全員が参加し意見を出せる場を設けられるよう検討しています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	△	・アンケート結果をもとに改善、検討が必要なところをミーティングで話し合っています。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○	・ホームページに公開しています。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	×	・今までは行っていませんが、来期は行う予定です。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○	・埼玉社協、さいたま市、民間の研修を全員の参加を積極的に促しています。
適	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的	△	・保護者面談、職員同士のミーティングを通して、支援計

切 な 支 援 の 提 供		に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか		画を作成しています。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	×	・WISKなどの結果を用いて、職員全員が一貫した支援になるよう検討しています。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○	・毎日のミーティングで職員全員で検討しています。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○	・ミーティングでは、子どもたちの関心度をみて検討しています。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	△	・長期休み等は遠足、保護者参加のイベント、調理室を借りての食育などを用いて、一人一人の課題にあった活動を取り入れられるようにしていきます。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	△	・主に集団療育ですが、必要に応じて1対1の対応をしています。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○	・毎日ミーティングを行い、その日の活動に合わせて、リーダーを中心に話し合っています。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	△	・ミーティングで共有するようにはしていますが、発言が一部の職員になってしまいがちなので、全員が意見を出し合い共有できるようにしていきます。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	△	・記録の書き方の研修等を行い、記録の重要性を認識していますが、それを支援につなげられていないので、改善していきます。
⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	△	・モニタリング、保護者面談、担当者会議等で確認しています。	
⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	○	・子供たちの支援に合わせて、保護者支援、地域連携を行っています。	

関係機 関 や 保 護 者 と の 連 携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	×	・相談支援事業所が行う担当者会議が開かれることがないので、こちらからも声掛けをし、事業所間での意見交換を行っています。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○	・学校によって、下校時刻や年間行事予定などの共有ができていない学校もあるので、今後も情報の共有ができるようコミュニケーションを図っていきます。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	×	・現在、医療的ケアを必要としている児童はいません。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	△	・一部の機関と情報、事業所の見学等は行っているが、今後も情報共有等できる機会を増やしていきます。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	△	・卒業後、保護者とも情報交換をしながら、地域での関わりを持っています。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	△	・研修には、全員が参加できるようにしています。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	△	・児童センター、交流センターの利用の機会はあるが、地域の子供たちとの関わりは少ない。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	×	・まだ、機会がありません。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○	・送迎時、状況に応じて面談、電話等で連絡し合っています。
保	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	△	・今期より、ペアレント・トレーニングを行っていきたいと検討しています。
	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行う	○	・見学時、利用契約時にご説明、質問等を伺っています。

護 者 へ の 説 明 責 任 等		ているか		
	③①	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○	・随時、相談や面談等を行い対応しています。
	③②	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	△	・保護者会、長期休み時のイベント、勉強会等で保護者同志のコミュニケーションの場の提供をしていますが、まだまだ全員の参加には至っていません。
	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	△	・担当者を決め、迅速に職員のミーティングを行い、解決の方法を検討しています。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○	・外活動、イベント等はその都度パンフレットなどを配布しています。日々の活動内容は年4回の会報やSNSで配信しています。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	×	・徹底していますが、保護者には状況に応じて説明していきます。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○	・送迎時や面談等で複数の職員で対応しています。 ・
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	×	・まだ、地域住民を招待して出来る活動は行えていません。 ・自治会の活動等の参加でコミュニケーションをはかっていきます。
非 常 時 等	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	△	・作成はしてありますが、保護者にはまだ、十分周知はされていないようなので、保護者会や面談の際に説明していきます。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練	△	・年2回の避難訓練、火災訓練を行っています。

の 対 応		を行っているか		
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○	・虐待防止研修に職員が順番に参加し、参加した職員は内部研修を行っています。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○	・現状、身体拘束は行っていません。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	△	・アレルギー情報は契約時に保護者より情報を得るようにしています。また該当児童については、主治医の指示書を提出してもらうようにしていきます。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	×	・日々のミーティング時に事例を報告、対応を検討して共有していきます。